opusdei.org

## 共に歩む:パキータ とトマス

パキータとトマスは、子ども 大ちや多くの大にキをを 教的生活の素晴らしさを喜い 表した。二人は「明るくと ました家庭」を築くと いた 聖ホセマリアの描いた家 理想を実現しました。

## 2022/12/20

トマス・アルビラは1906年1月17日 にサラゴサで生まれ、1992年5月2日 にマドリードで亡くなりました。彼 は化学博士、CSIC(スペイン科学研究高等評議会)の研究員、Instituto de Ciencias Naturales(スペイン自然科学学院)の教員でした。

パキータ・ドミンゲス・スシンは 1912年4月1日にウエスカで生まれ、 1994年8月29日にマドリードで亡く なりました。教育に従事し、1939年 6月6日にサラゴサでトマスと結婚しました。長男のホセマリアを5歳の時に失いましたが、9人の子供に恵まれました。1941年11月、トマスが Instituto Ramiro de Maeztu(ラミロ・デ・マエズトゥ院)の教員になるに伴い、一家はマドリードに移住しました。

トマスは1947年2月15日から、パキータは1952年2月1日からオプス・デイのスーパーヌメラリーになりました。オプス・デイの精神への忠実を保つことをとおし、彼らは子供たちと沢山の人々にキリスト教的生活

の模範を示し、その素晴らしさを伝えました。彼らは「明るく喜びに満ちた家庭」を築くという聖ホセマリアの描いた家族の理想を実現しました。

パキータとトマスはキリスト教的徳 を英雄的に忍耐強く実行することを 通して、共に聖性への道を歩みま活 た。聖なるミサは彼らの内的生活の 中心であり根源でした。神の恵みに 助けられ、神の現存を保つことに あることによって、彼らは家族生 がることによって、彼らはおいて はる様々な務めを聖化しました。

列福調査に協力してくださる方のご 寄附に感謝いたします。送金は以下 の口座にお願いいたします:

宗教法人オプス・デイ・ジャパン

三菱UFJ銀行芦屋支店

(普通) 3867278

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/ Tomoni-Ayumu-Alvira/ (2025/12/17)